

フュージョン

濱野京子作 講談社

何^{なん}なの、これ？ 何^{なに}やってんだよ、あいつら。——それが、あたしとヤツらの、そして、あたしとダブルダッチの^{であ}出会^{であ}いだっ^た。あたし、八木原^{やぎはら}朋花^{ともか}が夏休^{なつやす}みに出^で会^あった^ものは、ダブルダッチという二本^{ほん}の縄^{なわ}を使^{つか}って、トリックをこなしつつ跳^とぶ縄^{なわ}跳^とび。そして、優等^{ゆうとう}生^{せい}の美咲^{みさき}、ヤンキーの玲奈^{れな}、おとなしい玖美^{くみ}という、ありえない組^くみ合^あわせの三^{さん}人^{にん}組^{ぐみ}だ。引^ひき寄^よせられるように、跳^とび始^{はじ}めたあたし。たかがナワトビも悪^{わる}くない……。ダブルダッチを通^{つう}じて、自分^{じぶん}らしく歩^{あゆ}み始^{はじ}める少^{しょう}女^{じょ}の爽^{さわ}やかな物^{ものがたり}語^り。

